



NEWS : Industrial Research Institute of Gifu Prefecture

# ネジバナ 振花通信

工技研ニュース No.13 2015.5

- 所長ごあいさつ
- 研究成果発表会のご案内
- 平成 26 年度の依頼試験と開放機器利用の状況について

## ○ 所長ごあいさつ 一年を振り返って

機械金属業界のことをあまり知らず着任しご迷惑をおかけしましたが、徐々にではありますが、業界の方々の顔もわかるようになってまいりました。この一年は、「アベノミクス第三の矢」の日本再興戦略が進み、「消費税増税」「円安の進行」などで、景気判断が難しくなっています。業界を回っていても、増税前の駆け込み需要からの落ち込みなどで「余り良くない」という方、自動車大手は利益が上がっていても関連中小企業まで利益が回ってこなくて「やや苦しい」という方などがおられ、リーマンショック前の水準まであと少しと言った声を多く聞きました。また、MRJのロールアウトに代表されるように、航空機関連産業ではボーイング787の増産や777Xの開発などで好況を呈しており、認証などハードルは高いですが少しでも参入される企業があればありがたいという声を聴きます。

そのような中で、当研究所の平成 26 年度の実績は駆け込み需要で好調だった前年度と比べ、依頼試験件数で 7,241 件、開放機器利用時間数は 8,344 時間、技術相談件数は

1,816 件とやや減少していますが、一昨年とほぼ同数であり、機器利用ではまだお待ちいただく場合がございます。また、ぎふ技術革新センターの見学者数も開所して三年を経過し減ったとはいえ、89 団体 626 人の方に来所いただきました。最近では遠く北海道からも見学に来ていただくなど全国的に有名になりましたが、できれば地元の方にもっと知っていただいてご利用いただきたいと思っております。

この3月には、地域産業の活性化を図り、集積を強化する取組のうち、「ぎふ技術革新センターを核とする産学官連携」が全国で最も優秀な取組として表彰されました。これも一重に当研究所をご利用いただく方々の賜物とありがたく思っている次第です。地元の企業さんからは研究所は敷居が高いという声をお聴きすることや、担当者が多忙ですぐに対応できない場合もございますが、お気軽にお出でいただけるように努力しておりますので、ご遠慮なく声をかけていただけたら幸いと存じます。

岐阜県工業技術研究所長 村田明宏

## ○ 研究成果発表会のご案内

【主催】岐阜県工業技術研究所

【日時】平成 27 年 6 月 2 日 (火) 13:00~16:00 (受付 12:30~)

【会場】岐阜県工業技術研究所 本館 2 階講堂  
〒501-3265 岐阜県関市小瀬 1288

【口頭発表内容】13:05~15:05

- 伝統に学ぶものづくり研究 - 赤羽刀技術調査 - 金属部 細野 幸太
- 自己組織化膜による刃物の表面改質技術の開発 金属部 大川 香織
- 刃物ブランドの維持・向上に資する計測・評価装置の開発研究 機械部 田中 泰斗
- 水栓設備によるエネルギーハーベスティング技術に関する研究 機械部 西嶋 隆
- 薄板のプレス焼入れ技術に関する研究 複合材料部 小川 大介
- CFRTP を活用した超軽量下肢装具の開発 複合材料部 千原 健司

【パネル発表】15:05~16:00

- 鋳物製品の内部欠陥の低減に関する研究 金属部 大平 武俊
- 摩擦攪拌接合の異種材接合への応用 金属部 水谷 予志生
- 水質が脱亜鉛腐食に与える影響に関する研究 金属部 足立 隆浩

- 内部急冷凝固法による金属プレス金型材料の高強度化・高品質化技術の確立<sup>※</sup> 金属部 足立 隆浩
  - ウォータージェットによる CFRP 加工効率化に関する研究 機械部 西村 太志
  - 液圧を活用した、三次元形状パイプの芯金レス穴加工用金型技術の開発<sup>※</sup> 機械部 今井 智彦
  - 薄肉ヒートシンク成形用カーボン電極の精密加工技術と放電加工技術の確立<sup>※</sup> 複合材料部 加賀 忠士
- ※ 経済産業省/戦略的基盤技術高度化支援事業

【所内見学】15:05~16:00 (パネル発表と同時開催)

- ・ 所内を自由に見学頂けます (一部制限区域有り)。
- ・ 希望者には主要設備を中心に所内をご案内します。

【申込み方法】

当所ホームページから申込書をダウンロードし、FAX 送信、またはメールにてお申込みをお願いいたします。

【問い合わせ先】

岐阜県工業技術研究所 tel:0575-22-0147 fax:0575-24-6976  
e-mail:uketsuke@metal.rd.pref.gifu.jp 担当:千原、仙石、丹羽

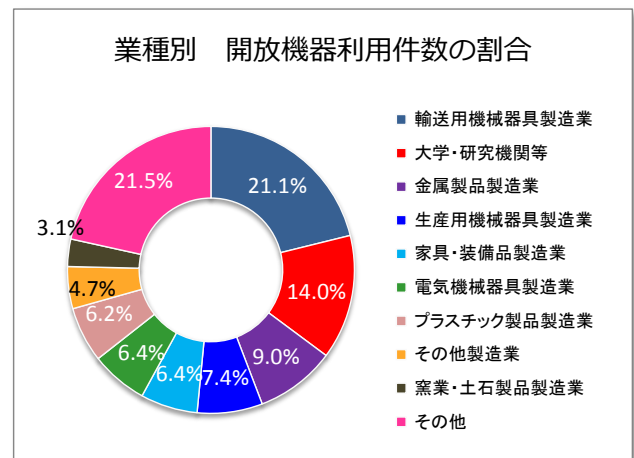
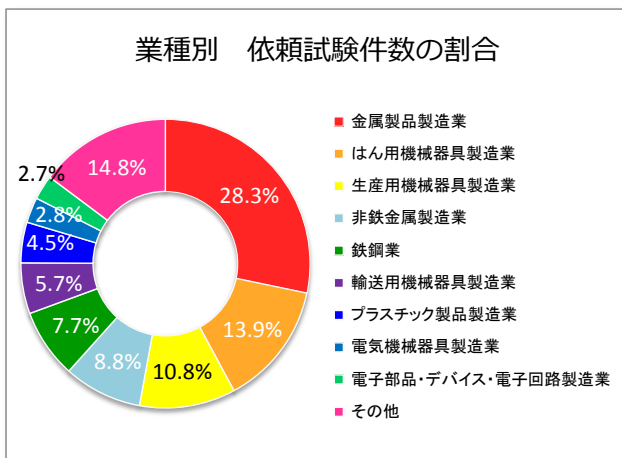
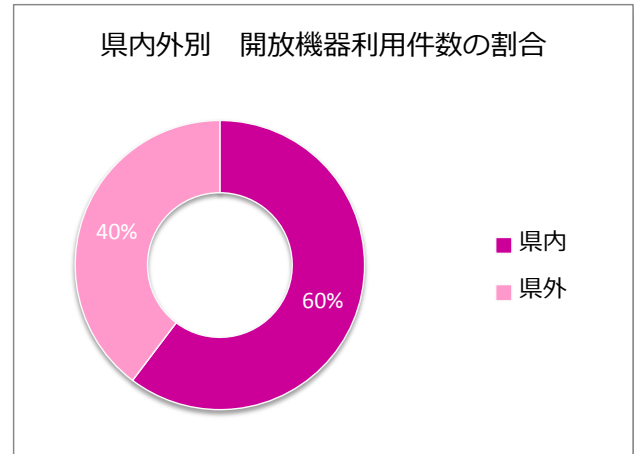
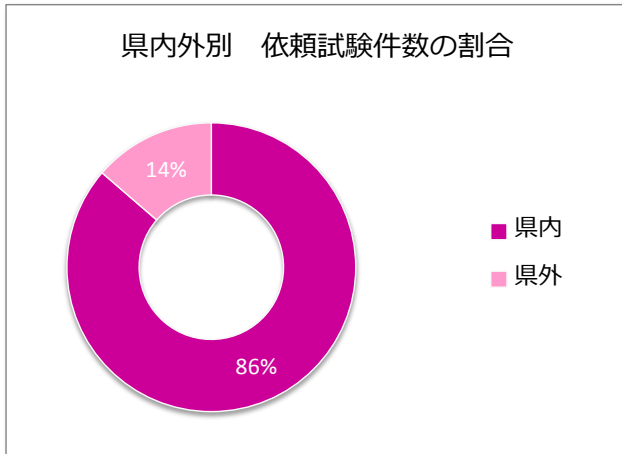
# 平成 26 年度の依頼試験と開放機器利用の状況について

当所は、地域産業を技術的側面から支援することを目的に、主に刃物、機械・金属業界の方々を対象に、製品開発・品質管理・クレーム解析等に必要となる、材料分析・各種顕微鏡観察・機械的試験・非破壊検査・精密測定・電気試験等の依頼試験及び開放機器利用サービスを実施しております。平成 23 年度に併設した、ぎふ技術革新センターの設備増強以降も、皆様の試験・機器利用のニーズに応えるべく、新しい設備を充実させてきております。今後も、依頼試験・開放機器の円滑なご利用のために、あらかじめ電話による利用予約を行った上、ご来所くださるようお願い致します。

## 【平成 26 年度実績】

依頼試験数 1,797 件（試験件数 7,241 件）

開放機器利用件数 8,344 件（1 時間 1 件換算）



依頼の多い試験項目（試験件数ベース）

① 定量	14.9%
② 引張り、圧縮、曲げ等	13.5%
③ 観察用試料調整	11.3%
④ 電界放射走査電子顕微鏡	9.9%
⑤ 切れ味試験	9.8%
⑥ 耐食性試験	6.2%
⑦ 電子プローブマイクロアナライザ	4.5%
⑧ 力学的強度試験	2.9%

利用の多い開放機器（利用件数ベース）

① 恒温恒湿室	14.4%
② 恒温恒湿器	9.4%
③ 電磁力式微小試験機	9.3%
④ 振動試験装置	9.1%
⑤ 万能試験機	5.4%
⑥ X線CTシステム	5.4%
⑦ レーザー顕微鏡	4.5%
⑧ 集束イオンビーム	3.6%